

平成 30 年(2018 年) 6 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2 日目）

平成 30 年 6 月 8 日(金)

割当時間(答弁を除く)	自 民 党	35 分
	公 明 党	30 分
	なはの翼 f 協働	15 分
	維新・無所属の会	10 分
	無 所 属 の 会	10 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	久 高 友 弘 (自 民 党)	1 佐藤惣之助の詩歌碑の移設について 2 識名園の整備について	(1) 「佐藤惣之助の詩歌碑」の移設を求める陳情が昨年 10 月 4 日に議会で全会一致で可決された。同時に赤平町から提出された「虎瀬公園」の名称を「虎頭山の御殿公園」に改称し、「佐藤惣之助の詩歌碑」を現在ある場所に残すとともに同公園と同詩歌碑を那覇市の文化財に指定する陳情については全会一致で否決された。この 2 つの陳情の結果を受けて、当局はどのように対応したのか伺う (2) 今年の 2 月定例会で徳盛部長は宮平のり子議員の質問に「佐藤惣之助の詩歌碑の移設に関する要請を受け首里城レストセンター前芝生広場内への移設に向け調整を行っていたが公園整備に支障があるためできない旨の回答を得た。その後、県から提示を受けた移設地を中心に現在も沖縄県と協議を継続しているところです。」と答弁しておられたが県から提示を受けた新たな候補地はどこか伺う (1) 今年 5 月 22 日(火)の琉球新報と 5 月 28 日(月)の沖縄タイムスの両紙に「識名園けが相次ぐ」という記事が掲載された。今年 4 月の 1 カ月間で観光客 2 人が救急車で搬送されたとのことだが、詳しい内容を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 宇栄原南土地 地区画整理事業について	(2) 2016 年にも来園者が雨天時に石灰岩の石畳で足を滑らせ骨折する事故が起きていたということだがその時の当局の対応について伺う (1) 宇栄原南土地地区画整理事業組合が昭和 53 年に設立された。事業施行期間が長期に及んでいるがいつまでに事業が完了できるか伺う (2) 平成16年度以降平成28年度まで宇栄原南の行政区域の変更について膠着状態になっていた理由を伺う (3) 平成 28 年 12 月定例会で部長は「現在、那覇市、豊見城市双方で行政区域変更について5世帯の市民の意見を尊重することを基本に複数案を作成し協議を行っているところであります。5世帯の市民の方々が引き続き那覇市民となるよう行政区域の変更協議を進めていきたいと考えております。」と答弁しておられたが複数案とはどんな案か伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	大 嶺 亮 二 (自 民 党)	1 こども行政 について	学童（放課後児童クラブ）の待機児童数について、現状と今後の対応を伺う
		2 新文化芸術 発信拠点施設 整備事業につ いて	新文化芸術発信拠点施設整備事業の現状と今後のスケジュールを伺う
		3 保育行政に ついて	本市の待機児童数及び保育所入所待ち児童数について、現状と今後の対策を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 山 孝 夫 (自 民 党)	1 新文化芸術 発信拠点施設 について 2 龍柱につい て 3 新商品開発 事業について	新文化芸術発信拠点施設について次のとおり 伺う (1) 現在までの事業の進捗と今後の市の対応 について (2) 本事業に関わる予算総額と国負担分と市 負担分の割合について (3) 予算変更の可能性はあるのか、また変更し た場合、国からの補助金、市の持ち出し分は どのように変わるのか 龍柱について次のとおり伺う (1) 本事業に関わる当初予算総額と国負担分 と市負担分の割合について (2) 完成時の経費の国負担分と市負担分につ いて (3) 現在の龍柱の経済効果について 新商品開発事業について次のとおり伺う (1) 本事業の平成 29 年度と平成 30 年度予算に ついて (2) 平成 29 年度の予算内訳及び事業内容につ いて (3) 現在の商品販売品目数と販売状況、その経 済効果について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 議会報告会 について	平成 30 年 5 月に作成された「議会報告会における市民からの要望等の報告についての対応」の文書の中で、「新市民会館整備事業については、中心市街地関係者と意見交換会を開催してほしい」との市民からの要望に対する那覇市の返答は、どのように記載されているか城間市長に伺う
		5 こども医療 費助成につい て	こども医療費助成制度について、県内の他市町村は、例えば小学校卒業まで、あるいは中学校卒業まで、対象年齢を拡充している。城間市長は、那覇市のこども医療費助成制度の対象を拡充するつもりはあるか伺う
		6 中心市街地 の活用につい て	中心市街地について次のとおり伺う (1) 那覇市として中心市街地の重要性について (2) 第一牧志公設市場再整備事業の取り組みと同市場移設工事に係る交通の現状と対策への取り組みについて (3) 中心商店街の「アーケード老朽化問題」について、今後の那覇市の取組方針と実施時期について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 高齢者福祉について 2 こども医療費助成について 3 健康行政について	那覇市で「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まって１年になる。 (1) 初年度の取り組み状況と課題について伺う (2) 本市が最も力を入れて取り組んでいる事業は何か。実施状況と効果について伺う 2018 年度より国保の減額措置を未就学児においては行わない旨の方針が国により示され、沖縄県においても今年の 10 月から「現物給付方式」を導入することが決定している。那覇市においても今議会において「那覇市こども医療費助成条例の一部を改正する条例制定について」議案が上程されている。改正の内容を伺う (1) 那覇市の第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第 3 期特定健康診査等実施計画が策定された。資料によると、第 1 期データヘルス計画の実績評価において、人工透析患者数の増加等により糖尿病を中心とした生活習慣病の重症化予防に一層の取り組みが求められるとある。以下伺う ① 特定健診や診療報酬明細書（レセプト）のデータを活用するデータヘルス計画書には「人工透析患者のおよそ半分に糖尿病腎症があり」とあるが、データからみる実態はどうなっているか ② 本市は「糖尿病対策」として、どのような取り組みを行っているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 造血幹細胞移植について 白血病患者等に有効な治療法として骨髄移植があるが、ほかに末梢血の幹細胞を移植する方法や、赤ちゃんのへその緒から採取した臍帯血（さいたいけつ）を移植する方法がある。2014 年施行の「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」（「造血幹細胞移植推進法」）により、患者は骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植の 3 つから、自身に最適な治療法を選択できるようになった。以下何う ① 沖縄県内では 3 つの治療法について、どのように取り組まれているか ② 那覇市の骨髄移植ドナー支援事業の実施状況を伺う
		4 災害弱者の支援体制について	(1) 福祉避難所について、本市における現在の数を伺う。また福祉避難所設置マニュアル作成について伺う (2) 沖縄県が構築をめざす「災害派遣福祉チーム（DWA Tおきなわ）」について、その概要と那覇市の連携について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	喜舎場 盛三 (公 明 党)	1 生活困窮者 自立支援制度 について 2 中小企業支 援について 3 新文化芸術 発信拠点施設 整備について 4 保育行政に ついて	(1) 2015 年 4 月に生活困窮者自立支援法が施行されてから、本市における生活困窮者自立支援制度の実施状況を伺う (2) 同制度の課題と本市における課題を伺う (1) 「生産性向上特別措置法」が成立し、先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業のうち、一定の要件を満たした場合、地方税法において、固定資産税の特例を受ける事ができるが、以下伺う ① この設備投資に係る固定資産税の特例措置について伺う ② 想定される企業の数と、その税額はどのくらい見込んでいるのか伺う ③ 税の特例による固定資産税の減少の補てんはどうなるのか伺う (2) 中小企業の税制支援は他にどのようなものがあるのか伺う (3) 中小企業支援の補助金制度はどのようなものがあるのか伺う (4) 先端設備等導入計画の対象となる市内企業にどのように情報提供していくのか伺う (1) 工事入札が不調になった原因をどう分析しているのか、そしてどのように対応していくのか伺う (2) 市発注の工事で入札が不調になった工事はどのような工事があるのか伺う (1) 市内の認可園や認定こども園などの総定員が 11,405 人で 4 月申込児童数 10,779 人、利用児童数は 10,551 人であったようだが、それでも待機児童が 138 人である。待機児童数がゼロにならない理由を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) その待機児童解消のために、どのように取り組んでいるのか伺う (3) 今本市で認可外保育施設に対する支援はどの様になっているのか伺う (4) 国は認可保育所認定こども園と同様に認可外保育施設等も保育の必要要件を満たす場合、3～5歳児の全世帯と0～2歳児の住民非課税世帯を一定の上限額を設けて無償化すると決めているがどのように評価するか見解を伺う
		5 学校の安全・安心対策について	(1) 学校では児童・生徒の登下校時の安心・安全の対策はどのようになっているのか伺う (2) 学校での不審者対策はどうなっているか伺う (3) 「子ども 110 番・太陽の家」について現状を伺う
		6 学校におけるシックハウス対策について	学校におけるシックハウス症候群の対策について、どのように取り組んでいるか伺う
		7 教職員の長時間労働について	(1) 教職員が子ども達と向き合う時間を確保し、また心身の健康の確保のためにも長時間労働の改善が必要だが勤務時の管理を含め是正策はどのようになっているのか伺う (2) 中学校の部活動の実態はどうか伺う (3) 部活動の顧問をしている教員の負担軽減について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	上 里 直 司 (なはの翼 f 協働)	1 事務事業評価の再開について 2 協働によるまちづくりについて 3 沖縄都市モノレールの事業について	(1) 再開に向けた検討状況について伺う (2) 市民が外部評価人として参加するように制度構築し、実施すべきではないか。見解を伺う (1) 都市計画マスタープランの改定作業について、以下伺う ① 改定作業に市民意見をどのように反映させるのか ② 市民の参加を募る際、従来の公募型だけでなく、シンクタンクの「構想日本」が展開する無作為抽出で選ばれた市民に参加を依頼する手法を取り入れてみてはどうか (2) 校区まちづくり協議会及び準備会について各校区、市民の関心も高いと聞いている。当初計上した予算額及び対象校区数と現時点での応募状況について伺う。市民の関心が高く補正予算の計上も必要ではないか見解を伺う (1) 開業はいつになるのか。また、当初見込みより遅れている理由について伺う (2) モノレールの経営について伺う ① 始発、終電及びピーク時の増便などへの対応について ② 車内での Wi-Fi 環境の整備について ③ 経営状況について伺う ④ 市からの職員派遣の今後について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 新文化芸術 発信拠点施設 整備事業につ いて	入札不調になった理由及び今後のスケジュールについて伺う
		5 中心市街地 のアーケード への対応につ いて	2月定例会の代表質問でも取り上げたが、第一 牧志公設市場建て替えに伴う隣接する通り会の アーケードへの対応について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	坂 井 浩 二 (なはの翼 f 協働)	1 市営住宅の 現状について	本市市営住宅の現状について伺う (1) 本市内における市営住宅への入居者数及び世帯数をそれぞれ伺う (2) 高齢者の入居者数の割合及び世帯数の割合を伺う (3) 高齢入居者の現状と課題について、当局はどのように捉えているか、見解を伺う
		2 教育行政について	本市学校教育の現状と課題について伺う (1) 本採用、臨時採用の教職員総数をそれぞれ伺う (2) 上記採用の件については、どの部署が管理し、どのような手順で配置を行っているか (3) 英語等、専門教科の教職員の確保はどうなっているか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	當 間 安 則 (維新・無所属の会)	1 沖縄関係予算について 2 市の税収について 3 交通行政について	沖縄関係予算について、近年、要求額に対し減額傾向をたどっている。特に一括交付金の減額に関しては、県内の市町村予算が年々増加している中で、那覇市振興の施策展開へ影響が生じると思われる (1) 本年度、一括交付金の本市の確保金額と主要用途と金額について伺う (2) 初の取り組みである、各市町村と県との関係予算確保の連携強化のための意見交換について、概要及び今後の方向性について伺う 那覇市の財源の約 3 割が、市民に納めていただく市税から成り立っており、歳入の重要な財源である (1) 直近の市税収入の内訳と収納率について伺う (2) 収納対策について伺う (3) 今後の課題と対策について伺う 交通渋滞の解消、交通の質向上に向けて、公共交通機関の利用促進が必要である。モノレールの恩恵が受けづらい地域でのバス利用者の快適な環境が求められており、那覇市道におけるバス停留所整備について伺う (1) 現在の上屋の設置可能カ所数及び設置済カ所数について伺う (2) 現在のベンチの設置可能カ所数及び設置済カ所数について伺う (3) 視覚障がい者誘導ブロック・路面の凹凸等、不備な箇所の現状と対策について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 水道事業について	5月8日に梅雨入りした沖縄地方は、雨が降らず、空梅雨が続き、市民への給水制限が懸念されている (1) 市民からの問い合わせ状況及び対応について伺う (2) 給水制限時の市民生活への影響や節水啓発への周知について伺う (3) 直近の那覇市の給水制限について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、関係部長

代表質問（２日目） 平成 30 年 6 月 8 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	中 村 圭 介 (無所属の会)	1 協働による まちづくりについて	(1) NPO等に対する中間支援の取り組みが弱いと感じる。団体設立支援や運営支援についての取り組み状況を問う (2) 人材データバンク実施に向けて、マッチングの契機となるような「市民が集う機会」を創出してはどうか。見解を問う
		2 文化行政について	(1) 今後の市の文化情報の提供と発信の仕組みづくりについて、当局の考えを問う (2) 学校における美術の鑑賞教育について現状と課題を問う (3) 美術系の学芸員採用の検討について見解を問う
		3 中心市街地 活性化について	中心市街地活性化に関する基本計画は、ご参加いただいた委員に、計画に関連する各事業を個別に賛否をとったのか問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長